

令和6年1月9日（火）

3学期 始業式 校長講話



2024 初日の出 太郎山



全国各地からの応援



チーム日本



- ・ 地震発生から124時間（5日間動けなかった）ぶりに女性救出！6日夜（全国の県警 自衛隊 消防隊 医療従事者 の協力体制）

93歳のおばあちゃんを確認した隊員たちは、総勢50名で慎重に空間を作っていった。日が沈み暗闇が広がる。冷たい大粒の雨が打ち付けた。医療関係者は「90代の方が5日間はさまれた状態で生きているとは思えない」と頭によぎったそうです。しかし、そのおばあちゃんに手が届き「聞こえたら手を握ってください」と呼びかけると、かすかに手を握り返してきた。そのとき「助けることができるかもしれない！」と隊員たちは思った。いや絶対助けるぞ！と力がこもった。その状態のまま点滴を打ったり少しずつ重い物を削ったりして、午後8時19分助けることができました。福岡県県警をはじめ多くの隊員たちの協力と正確な行動と知恵によって一人の命を救うことができました。どんな状況でもあきらめないそんな思いで、命をつなぐことができたニュースでした。

「普通の出産 それが奇跡！」被災地で生まれた新しい命

希望の光

立ってられないほどの揺れが総合病院産婦人科をおそった！

そのとき、医師・看護師はどう行動したか？

- ・生まれたばかりの赤ちゃんの上に何人もの看護師が覆い被さって、赤ちゃんを守った！
- ・地震が起きている最中に陣痛が始まった・・・夜中の2時に赤ちゃんの産声があがった！

奇跡の18分



2日には羽田空港では火災が発生してしまいました。飛行機には乗客300名以上が乗っていました。翼が炎に包まれています。このとき多くの方はパニックになってしまうかもしれませんが、大事なことは、避難訓練と同じように冷静に行動することです。子どもたちは大人の指示に従い、慌てずに避難します。CA（キャビンアテンダント客室乗務員）の指示に従って、飛行機が爆発する前に全員が避難することができました。自分の命を守ることができたのです。

炎上した日航機から乗客乗員全員が無事に脱出したことについて、欧米各紙は「奇跡を目撃した」「客室乗務員（CA）たちは素晴らしい仕事をした」などと称賛の声を伝えた。

欧米各紙が事故を伝える記事の見出しには「ミラクル」という言葉が並んだ。

米ニューヨーク・タイムズ紙は旅客機の安全教育の専門家の話として「驚くべきだ。CAたちの反応速度は目を見張るものがあった。本当に奇跡だった」。

またロイター通信は「CAたちは素晴らしい仕事をしたに違いない。乗客全員が降りられたのは奇跡的だった」との航空分析会社の専門家の話を伝えた。

**どんな状態でも あきらめない！
（命を助ける大人たち・・・チーム日本！）**



やきゅうしようぜ

届きました！

6年生がキャッチボールをしてお披露目してくれました！大歓声でした！その後、毎日休み時間に遊びでキャッチボールしている姿が見られます

写真掲載：（一財）消防防災科学センター

「災害写真データベース」